

本紙に寄せられた読者の声

投稿特集

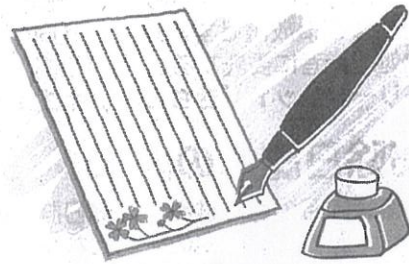
読者からのあんな声やこんな声。本紙にお寄せいただいた投稿をまとめてお届けします。

全国農業新聞 2024年6月7日

「水田活用の直接支払交付金における交付対象水田の見直し」の見直し求める

山口・周南市 農地利用最適化推進委員 山本 茂(73歳)

一昨年より今後5年間 制度になっています。し
で一度も水田として耕作 かし、中山間地域で営農
しなかった場合は、交付 している私にとって、全
対象から除外する新たな 国一律のこの新制度は見



直しをすべきと次の理由
から望みます。

数十年間ソバや麦を作
付けしている私の田は農
業用水を使っています
が、水稲栽培すると漏水
田で多量の農業用水が必
要となるため、近隣の水
稲農家に多大な迷惑をか
けることは必定です。特

に私は無農薬栽培ですの
でモグラが増え続け、排
水性は高まる一方です。
そのため、対象水田から
除外されようとも転換作
物を栽培せざるを得ない
のが実情です。

今、各界で賃上げの声
が高まっていますが、農
業は適地適作してこそ増
収増益の要諦です。2月
9日付本紙で藻谷浩介氏
は「都会から地方への移
住を」などと述べられ共
感します。

世界は気候変動の最中
であり、地方、とりわけ
中山間地に移住し持続可
能な農業で農産物の生産
に励めるよう支援策を拡
充し、農地の遊休化を防
ぎ、自給率の向上を図る
ことが肝要です。

R6.6.7